

中日
あかやま
題字 藤原田 親
No. 1047
2025/6/1
日中友好新聞
発行所
日本中国友好協会
〒111-0033
東京都台東区浅草橋2-2-3
4階4F 5号室
電話 03(5820)2140(代)
FAX 03(5820)2141
http://www.info.niccho.jp
E-mail: nichu@info.niccho.jp
URL: http://www.niccho.jp
TEL: 00119-1-21176
日中友好協会
岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-58 民生会館11F
TEL: FAX (086) 250-1806
日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福成町東田2461-45
TEL: FAX (086) 451-7800

竹内和夫先生を偲ぶ会

4月26日に岡西公民館で標記の会が行われました。

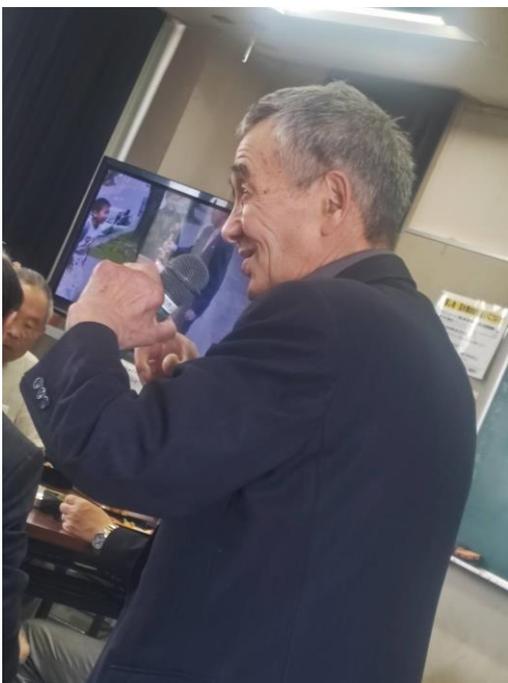
竹内先生は1927年に東京都江東区で11人兄弟の2男として生まれました。

東京の中学校教師から1976年に岡山大学文学部教授になられました。

岡山にいられてからは政治革新の運動とか日中友好協会、国民救援会の運動の先頭に立ってがんばられました。

先生の思い出を桑山哲郎さん、近藤幸夫弁護士、氏平みほ子県会議員、宇野忠義さん、劉勝徳華僑華人総会会長から語られました。

劉勝徳華僑華人総会会長。
その前は留學生の劉樊艶です。



あいさつする青木正美さん、高校生のころからお付き合いのあった竹内先生に対するの思いがあふれるスピーチでした。

開会のあいさつをする河井さん



竹内先生との長い付き合いを、話される桑山元事務局長

当日資料としてお配りしたものは、桑山さんが提供してくださりました。

中でも、「田中克彦自伝」に書かれている、竹内先生が東京から岡山大学へ来られる顛末はとても興味深いものでした。

新聞記事にも取り上げられ、当時は県民の耳目を集めた出来事だったようです。

竹内先生との出会いについて語られる宇野忠義日中友好協会岡山県連会長



上は岡田恒人さん、竹内先生との一番の思い出は、大山の麓に太極拳有志数人で、別荘を手作りしたことで、今も使っていますとのことでした。
下は当日最高齢の坪井あき子さん、車で来場されました。

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.jinaa.net/>
メールアドレス
nicchokayama@yahoo.co.jp



日中友好協会倉敷支部映画会 「大地の子」

第10部「冤罪」第11部「長江」

3月22日(土)14:00～上記の会がライフパーク倉敷中ホールで開催されました。「大地の子」最後の会です。参加者の感想を紹介します。

「このドラマは初めて見ました。見るたびにいろいろ考えさせられることが多く、最後まで感動の

連続だった。人と人のつながりは国の違いは関係ないと思うけれど、歴史上日本と中国の関係は

戦争が大きく関係していると思う。陸一心はもとより、実の父、育ての父どちらも考えさせられ

ることが多かった。近くの中国のことを、余りにも知らなすぎると思った。もっと知りたいと思

った。」(70代男性)

「歴史荒波に翻弄された一人の人間とその生きざまに感動した。『大地の子』の意味が理解できた

映画でした。原作者の山崎豊子氏の筆力のすごさに感服。次は五味川純平『人間の条件』が観た

いです。」(70代男性)

「日中共同製作映画の最高の映画だと思います。最終の場面での製鉄所の完成と火入れ式、竣工式、

様々の国難、危機を乗り越えての成功の場面等、迫真の場面と撮影にも感動しました。最終的に

は『大地の子』として、中国に残り西蒙古鋼鉄公司以働く決意をした陸一心の崇高な『大地』へ

の『中国』への感謝も見事でした。」(80代男性)

「原作者山崎豊子さんのこの作品に込めた想いをひしひしと感じ取りながら、多くを学ばせていた

だきました。何度出会っても、学ばせていただいている作品です。この機会を作ってくださった

ことに感謝します。」(70代女性)

「私は山崎豊子さんの作品が好きでたくさん読んできたが、やはり『大地の子』は圧巻だ。スクリ

ーンのはしばしにあふれる彼女の日中友好の熱いまなざしを感じる作品だ。中国共産党の正義の

素晴らしさが立派だ。『最終編』まで見終えてとてもよかった。」(80代女性)

犬飼 繁

最後に神奈川からかけつけて下さった竹内先生の末弟の重男さんからお礼の言葉がありました。当日参加者は43人でした

河井伸士



太極拳教室はじまる

4月9日、医療生協の瀬戸支部のたまりの”あゆもどき”で、毎月第2水曜日の14時から、太極拳教室がはじまった。日中岡山支部理事長の河井さんのつながりで、今年に入ってから話があって、あっという間に始まった。なにせ日取りを伝えてもらったのが一週間前だ。やるとなったら早い方がいいし、ちょうど

4月だし、よいスタートだ。

”あゆもどき”は、民家だったのだろうか？一階にはくつろぎスペースがあった。練習場所は二階の和室だ。手を伸ばして壁にも天井にも当たらないのが畳一畳分くらいのスペースしかない。そこに5人。

うん、こういう練習場所もおもしろい。

真向法をやってみる。足を広げれば、となりと触れ合う。ちよとずつ移動してスペースを確保する。

ゆっくりやらなければ間が持たない。なにせスペースの関係でできる運動が限られている。練功18法だって、いくつかの運動はお互いぶつかってしまうだろうし、八段錦も壁や天井がすぐそばにある。24式はがんばっても一人ずつしか動けない。

できることが限られてるから、できることを丁寧にやっていく。姿勢を整えて、どこを動かすのか意識して、呼吸をとめずに。

ストレッチ系の運動は、一つ一つの動作に時間をかけるので、ちゃんとやると実はかなりきつい。いつもの広い場所だと、あれこれやりたいことが目白押しで、おろそかになってしまいがちなので、すごくいい。

月一回の太極拳教室、みんなが楽しめて、健康な体作りができればいいと思う。

小川涼子

倉敷支部総会

〇6月29日(日)

〇13時30分～

〇倉敷健康福祉プラザ1階
102研修室

会員の皆様のご参加をお待ちしております。

次回の新聞送作業は6月12日(木)午前10時半から民主会館1階で行います。前回お手伝いくださった方です。

河井
犬飼
貝吹